

第九十回帝國議會 衆議院 所得稅法の一部を改正する等の法律案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月五日(月曜日)午前十一時二十一分開議

出席委員

委員長 苦米地義三君

理事 殿田 孝次君 理事 中野 武雄君

理事 深津 十一郎君 理事 飯島 祐之君

理事 宮澤 才吉君 理事 松永 義雄君

理事 今井 耕君

小川原政信君 河原田 巖君

片岡伊三郎君 上林山榮吉君

坂本 實君 田中 實司君

平岡 良藏君 江川 爲信君

松岡 運君 八木佐太治君

奥村又十郎君 川島 金次君

榊原 千代君 玉井 潤次君

飯田 義茂君 原尻 東君

鈴木 憲一君 増井慶太郎君

山下 ツ子君

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 荻田 保君

大藏政務次官 上塚 司君

大藏事務官 池田 勇人君
專賣局長官 杉山 昌作君
大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタル議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の部を改正する法律案(政府提出)

○苦米地委員長

ソレデハ是レカラ會議ヲ開キマス、本日ヨリ政府

ニ對スル質疑、御發言ヲ願ヒマ

ス、一昨日理事會デ打合せマシタ

ガ、質疑發言ノ順序ヲ大體自由

黨、進歩黨、社會黨、協同民主

黨、新政會、無所屬ト、斯ウ一順

ヤリマシテ、又發言ノ順序ヲ斯ウ

云フ風ニ繰返シテ行クト云フコト

ヲ一應打合せラシテ置キマシタカ

ラ、特別ナ場合ヲ除キマシテハ斯

様ナ順序デヤリタイト思ヒマス、

御諒承ヲ願ヒマス、ソレデハ上林

山榮吉君

○上林山委員

大藏大臣ガ時間ノ

關係デ御出席ガナイノデ內務大臣

ニ對シマシテ私ハ質問致シタイト

思フノデアリマス、言フマデモナ

ク地方自治運営ヲ充分民主的ニ權

威アラシメル爲ニ、地方財政ヲ之

ニ併行致シマシテ確立スルモノデ

ナケレバ、地方自治確立ノ美名ノ

下ニ、單ニ地方民ノ注意ヲ知事公

選ニ集中スルダケデ、實質ハ何等

變化ガナイト私ハ考ヘルノデアリ

マス、殊ニ官僚的色彩ノ清算サレ

テ居ナイ所ノ地方制度改正案ト、

地方財政改正案トヲ比較シテ檢討

致シマスル時ニ、特ニ其ノ感ヲ深

クスルモノデアリマスルガ、之ニ

對シマシテ內務當局ハ如何ナル感

想ヲ以テ居ラレルモノデアリマセ

ウカ、先ツ之ヲ伺ツテ置キタイノ

デアリマス

○大村國務大臣

今日憲法改正草

案ガ議會デ御審議ニ相成リマス

同時ニ、地方ノ政治モ民主化スル

コトガ國政ノ民主化ノ基礎ニモナ

ルコトデアリマスノデ、地方自治

行政ノ民主化ニ付テノ相當積極的

ナル案ヲ提出致シマシテ、御審議

ヲ仰グコトニ相成ツタノデアリマ

スガ、只今上林山委員ノ仰セノ如

ク、制度ダケ民主化サレマシテモ

是ガ裏打ナル財政上ノ民主化、

自主化ヲ圖ラナケレバ、名實相伴

ハナイ次第デアリマスノデ、今回

地方稅制、財政制度ノ改正案ヲ樹

テマシテ、茲ニ御審議ヲ仰グコト

ニナツタノデアリマス、併シ御承

知ノ如ク、敗戦後我が國ノ經濟財

トナル稅制ノ改革ニ於キマシテ、十分其ノ目的ヲ達スルコトハ所詮困難ナヤウナ事情ニアルノデアリマス、現下ノ情勢デ出來得ル限りノ地方稅制、財政ノ自主化、民主化ニ努メタ積リデ居リマス、尙ホ申シ添ヘテ置キタイト思ヒマスコトハ、最近ノ經濟財政狀況ハ逼迫シテ居リマスノナミナラズ、是ガ將來ノ見透シニ付キマシテモ、色色ナ條件ニ制約サレマシテ、ハツキリト致シ兼ねルモノガアリマスノデ、今回提案シテ居リマスモノモ應急的ノ域ヲ脱シテ居ナイト思フノデアリマス、是ガ根本的ナ恒久的ナ問題ニ付キマシテハ、國ノ財政稅制ト相俟チマシテ、今後ニ讓ルト云フ外ハナカツタ點ヲ特ニ御諒解ヲ仰イデ置キタイト思フノデアリマス

○上林山委員

內務當局ガ現在ノ

困難ノ事情ノ中ニ地方財政ノ改正

案ヲ應急ノ策トシテ斷行セラレタ

其ノ間ノ事情ハ、我々モ諒ト出來

ルノデアリマスガ、併シソレデハ

餘リニモ疲弊困憊シテ居ル所ノ地

方財政ノ確立而モ、此ノ確立ガナ

ケレバ御説ノ通り地方制度ヲ改革

シテモ、是ガ完全ナル運営ガ出來

ナイト云フコトニナルノデアリマ

スカラ、私ハ一步更ニ其ノ困難ヲ

克服スル努力ヲ政府ニ要望シテ已

マナイモノガアリマス、從來我が國地方財政ノ特色ト致シマシテ、當然國費ヲ地方財政デ負擔シテ居タ部分ガ相當多カツタノデアリマスガ、更ニ事變以來ハ時局關係費ガ大半地方負擔トナツテ居タシ、其ノ傾向ハ益々今日モ著シクナツテ來テ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ政府案ニ依リマス、假令物價騰貴ニ基キ已ムヲ得ナイ増加、或ハ戰災ニ基キ收入減ナドト云フコトヲ考慮ニ入レデ見マシテモ、此ノ案ヲ見マス地方民ノ負擔ガ急激ニ増加シテ居ルコトガアルノデアリマス、其ノ顯著ナルモノハ、言フマデモナク府縣民稅ノ新設ト市町村民稅ノ大幅引上げデアリマスガ、府縣民稅ト市町村民稅トデ合計改正案デハ、人當リ平均百圓乃至百五十圓トナツテ居ルノデアリマシテ、從來ノ六圓乃至十二圓ニ比較致シマス時ニハ、著シイ増加デアリマシテ、是ハ往年ノ戶數割制度ハ逆轉スルノデハナカラウカト云フ程、地方民ニ對シマシテハ其ノ負擔上重視シナケレバナラヌ現象デアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ當局ノ見解ヲ實シテ見タイノデアリマス

○大村國務大臣

地方團體ガ國政事務ノ委任ヲ受ケテ居ル其ノ費用

ヲ國ト地方團體トノ間ニ如何ニ分擔スルカト云フ問題ハ、國費地方費負擔區分ノ問題トシテ始終論議サレテ居ル所デアリマスルガ、國政事務ノ種類ニ依リマシテハ地方團體ノ利害ニ關係スル所ニ非常ニ濃厚ナモノト然ラザルモノトガゴザイマシテ、ソレ等ノ實狀ニ依ツテソコニ適當ナル分擔ヲ決メルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ今回ノ稅制財政改革ノ際ニ於キマシテ或ル程度ノ是正ハ致サレタノデアリマス、例ヘバ警察費ノ分擔ニ於キマシテハ、從來地方ニ依ツテ或ハ五分ノ一、或ハ十分ノ六ト云フヤウナモノデアリマシタガ、今回一律ニ國ガ十分ノ六、地方ガ十分ノ四負擔スルコト云フヤウナコトニ是正サレマシタノモノ、其ノ一例デアリマシテ、其ノ外ニモ何ガシカ是正サレテ居ルノデアリマシタガ、其ノヤウナ方途ハ今回之ヲ講ジタノデアリマス、尙又地方財政ノ自主性、自主性ヲ増加致シマス爲ニハ、何トシテモ地方團體ニ獨立財源ヲ與ヘル、獨立稅ヲ認メルト云フコトガ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、併シ是ガ爲ニ、無暗ニ地方民ノ負擔ヲ増加致シマスコトハ、是ハ慎シマナケレバナラスコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、唯御承知ノ如ク、敗戦後ノ我國ノ狀態ト致シマシテ、地方財政ノ要求スル所ヲ悉ク國庫デ支

辨スルコト云フコトハ、假ニ理論上又ソレガ正當ダト云フヤウナ場合ニ致シマシテモ、國庫財政ハ極メテ窮屈ニ相成ツテ居リマスノデ之ヲ悉ク國庫ニ求メルコトハ實際問題トシテ不可能デアリマス、然ルニ先程來申上ゲマスヤウニ、今回地方行政ノ自主性、自立性ヲ強化シヨウト云フコトニナリマスレバ、獨立財源、獨立稅源ヲ附與スル必要ガアリマスル同時ニ、又ソレ等ノ仕事ハ地方關係住民ノ利害ニ關係アル點ガ多イト致シマスルナラバ、ソコニ地方民ガ負擔ヲ分任スルコト云フコトモ當然ノコトデアリマス、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、茲ニ提案シテ居ルヤウナ程度ノ案ヲ定メタノデアリマス、而シテ是ハ結局只今申上ゲマシヤウニ、地方團體ノ自主性、自立性ヲ強化回復致シマスニ於テ適當ト認メラレマス程度ノ増稅等ヲ致シマシテ、サウシテ他方地方團體ノ所要スル財政上ノ需要ト云フモノヲ差引致シマシテ、サウシテ不足スル部分ハ已ムヲ得ズ之ヲ全額國庫ノ配付稅ニ依ツテ辻褄ヲ合ハシテ居リマスヤウナ次第デアリマス

シタケレドモ、依然トシテ地方負擔ニ之ヲ任シテ居ルト私ハ申上ゲタ譯デアリマスガ、此ノ點カラ致シマシテ政府ノ御説明ニ依リマス、地方民負擔ノ著シイ増加ハ、地方財政收入ガ戰災ノ爲ニ約九億六千萬圓減少シテ居ルト云フコト、或ハ地方ノ學校教職員、警察官、地方吏員ノ待遇改善ニ要スル豫算ガ約二十五億圓、更ニ生活保護法案實施ニ伴フ所ノ費用其ノ他ガ六億圓何ガシ、合計四十億五千八百萬圓ニナルノデアツテ、之ヲ調達スル必要カラ此ノ改正案ヲ出シタノデアアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、併シ謂フ所ノ警察費或ハ教育費、是ハ言フマデモナク、本來國費デ賄フベキ建前ノモノデアリマスカラ、國稅ヲ増徴スル以上ハ、先ヅ第一ニ出來ルダケ地方負擔ヲ輕減スル爲ニ、國費負擔額ヲ増加スルコトニナラナケレバナラナイト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ政府案デハ警察費ノ連帶支辨金ハ元來三割五分ノモノヲ約六割ニ、ソレカラ教育費ハ三分ノ一デアツタモノヲ二分ノ一引上ゲヨウトシテ居ラレルノデアリマスガ、今御説明ニナリマシタ配付稅ノ額ヲ見マシテモ僅カニ十億圓デアリマス、サウ云フヤウナ財政デアリマスルガ、之ヲ以テ地方財政ニ充テテ、殘額ハ全部中央財政ニ之ヲ振向ケントセラレルモノデアルト私ハ考

ヘルノデアリマス、即チ本改正案ニ依リマスルト、結局學校ノ教職員、警察官等ノ待遇改善費ハ、大部分ヲ府縣民稅ト市町村稅ノ増加デ賄ヘ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、結局ハ中央財政偏重主義ガ今日ニ於テモ相當量殘サレテ居ルト云フコトハ遺憾デアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ教育費或ハ警察官ノ連帶支辨金等ニ對シマシテ、內務當局ハ如何ナル積極的ナ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ同ツテ見タイノデアリマス

○大村國務大臣 警察費或ハ教育費ヲ國ト地方トノ間ニ如何ニ分擔シテメルカト云フ點ハ、度々論議ヲサレテ居ル問題デゴザイマスルガ、併シ是等ノ費用ハ全額ヲ國庫ニ負擔サセルト云フヤウニスベキモノノヤウニハ政府ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、警察ト謂ヒ、又教育ト謂ヒ、地方民ノ利害ニモ大イニ關係シテ居ルコトデアリマス、尙ホ一面ニ於キマシテハ國家ノ治安又國民ノ教養水準ヲ昂メルト云フ意味ニ於キマシテ、國家的利益モ確カニアルコトデアリマスルカラ、是ハ國ト地方トノ間ニ適當ナル所デ分擔フスベキモノダト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ今後ノ地方行政ノ民主化ノ傾向ヲ望見致シマスルト、警察ノ如キモ是ハ國家警察カラ相當大キナ部分ガ地方警察ニ委讓セラ

ルベキ傾向ニアルト思ヒマス、又教育ニ於キマシテモ、中央集權的ナ教育制度カラ地方分權的ナモノニナリマシテ、教育行政ノ「ウエー」ト「フ」地方ニ移行セシメルト云フコトモ、當然是ハ民主化ノ過程ニ於テヤラナケレバナラスコトト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマスルト、ヤハリ從來執ツテ居リマシタ教育費、警察費ヲ國ト地方トノ間ニ適當ナル分擔ヲスル、斯ウ云フコトニスルノガ至當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテソレ等ノ點ヲ考慮致シマシタ結果、警察費ハ只今ノ御説ノ如ク國デ六割、地方デ四割ト云フコトニ改メルノガ至當デア

ル、教育費ニ付キマシテモ、是ハ內容ニ依ツテ違ヒマスガ、義務教育費ニ付キマシテハ、國五、地方五ト云フヤウニ、兩者ノ分擔割合ヲ確定シタ次第デアリマス、サウシテ國ノ政治デアルカラ之ヲ悉ク國費デ持タナケレバナラヌト云フヤウニハ、實ハ考ヘテ居ナイ次第デアリマス

○上林山委員 內務大臣ハ警察モ教育モ地方ガ利益ヲ受ケルノデア

ルノモ、總テ歸スル所ハ一元化シ
レテ國民ニ基礎ガアルノデアリマ
ス、デアリマスカラ、必ズシモ地
方ガ利益ヲ受ケルカラ地方ガ負擔
ヲシナケレバナラナイト云フコト
ハ、今日ノ地方財政ノ貧困ノ時代
ニハ、言フベクシテ行ハレナイ、
問題ハ地方ノ經濟ガ鞏固デア
ルカ、或ハ地方ノ經濟ガ貧困デア
ルカナイカト云フコトニ起因スル
デアリマシテ、今日ノ實情カラ申
上ゲマシテ、地方ハ其ノ負擔ノ能
力ガナイ、デアリマスカラ、國家
的性質ヲ多分ニ持ツテ居ル所ノ是
等ハ見解ノ相違ト言ヘバ相違デア
リマスルガ、如何ニ民主的ナ時代
ニナツテモ、負擔ノ如何ニ依ツテ
是ガ國家事業デアリ、是ガ地方ノ
事業デアルト云フヤウニハ私共ハ
考ヘナイ、少クトモ其ノ事業本來
ノ性質ニ鑑ミマシテ、是ハ國家的
事業デアアル、或ハ部分的地方ノ事
業デアルト云フ風ニ其ノ性質カラ
考ヘテ行クベキモノデアアル、斯ウ
云フ風ニ考ヘルノデアリマス、デ
アリマスカラ地方警察官ニシマシ
テモ、教職員ノ待遇改善ニ致シマ
シテモ、強力ナル國家ノ財政ノ力
デナケレバ之ヲ補ツテ行クコトハ
出來ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノ
デアリマスガ、當局ハ此ノ間ノ事
情ヲ能ク勘案サレマシテ、更ニ教
育費、殊ニ青年學校費ノ國庫負擔
ノ増加、或ハ警察官ノ國庫負擔ノ
増加ト云フモノニ付テ、更ニ一步

御研究ガ願ヒタイ、斯ウ云フヤウ
ニ考ヘルノデアリマスガ、今日ニ
於テハ、將來ニ於テモ此ノ儘デ宜
シイト云フヤウナ、所謂其ノ場限
リノ御考ヘテ持ツテ居ラレルノデ
アリマセウカ、モツト肚ノ底ヲ御
尋ネ致シテ置キタイノデアリマス
○大村國務大臣 地方財政ノ賄ヒ
方ニ付キマシテノ理想的ナ形ハ斯
ウ云フモノデハナイカト思フノデ
アリマス、ソレハ地方團體ノ負擔
ヲスベキ經費ニ付キマシテハ、只
今申上ゲマシヤウニ、國費ト地方
費トノ負擔區分ヲ最モ適當ニ致シ
マシテ、サウシテソコニ地方團體
デ必要トスル經費ガ確定ヲ致スト
云フコトニナリマスルト、理想論
カラ申シマスレバ、ソレダゲノ經
費ヲ地方團體ノ自力ニ依リマシ
テ、地方團體ノ課税ニ依ルトカ、
或ハ收益事業ノ益金ニ依ルトカ、
其ノ他地方團體ノ自力ニ依ツテ調
達出來ルヤウニ地方ノ税制及ビ財
政ヲ打立テテ、サウシテ餘リ他人
ノ懐ロニ頼ラズシテ、財政上ニ於
キマシテモ金額ヲ自分ノ自主的措
置ニ依リマシテ調達ガ出來ルト云
フコトガ地方財政上ノ一ツノ理想
ダト思フノデアリマス、今回ノ改
正ニ當リマシテモ、其ノヤウナコ
トガ出來レバ是非試ミタイノデア
リマスルガ、先程來申上ゲマシヤ
ウニ、敗戦後ノ地方財政ノ實情ト
致シマシテ中々其ノヤウニ思フヤ
ウニナリマセヌ、又地方税制ヲ地

方財政上必要トスル所マデ擴充致
シマシテ、地方税デ十分ナ金ヲ舉
ゲサセルト云フコトモ、是ハ現在
ノ段階ニ於キマシテハ經濟上ノ關
係ガ十分見透シモ付キマセヌノ
デ、其處マデモ行キ兼ねタノデア
リマス、ソコデ其ノ理想ニ成ベク
近寄ルヤウニ地方税制及ビ財政ヲ
取扱ツタノデアリマスルガ、其ノ
辻褄ノ合ハナイ分ハ已ムヲ得ズ之
ヲ國庫カラノ配付税ノ増額ニ依ツ
テ措置ヲスルト云フコトニ致シタ
ノデアリマス、而シテ此ノ配付税
ハ、前年度ニ比ベマスト實ハ二倍
半ニ激增スルヤウナ結果ニ相成ツ
テ居ルヤウナ次第デアリマス
○上林山委員 私ハ只今ノ御答辯
ニハ満足シナイノデアリマスガ、
更ニ角度ヲ變ヘマシテ、先程大臣
モ説明サレタヤウニ、地方ノ財政
強化ニ對スル獨立税或ハ其ノ他ニ
關スル所ノ具體的ナ私ノ意見モ述
ベマシテ所見ヲ伺ヒタイノデアリ
マス、先ツ第一ニ敗戦ノ結果都市
ノ大半ガ非常ニ潰滅致シマシテ社
會經濟ノ狀況ハ茲ニ一變シタノデ
アリマス、其ノ結果地方財政ノ事
情モ御承知ノヤウニ急變致シマシ
テ、歲入不足ヲ非常ニ生ジタノデ
アリマスガ、政府ハ之ニ對シテ昨
年度ハ總額約五億五千萬圓ノ赤字
起債ヲ許シテ居ルノデアリマス
ガ、今後戰災復興ニ要スル公債ノ
發行ニ對スル方針、或ハ其ノ計畫
ガアリマスナラバ之ヲ承ツテ置キ

タイノデアリマス
○大村國務大臣 戰災ヲ被リマシ
タ都市ガ多額ノ財源ヲ喪失シテ苦
シンデ居リマス、又反面ニ於キマ
シテハ戰災復興、或ハ罹災者ノ救
助、援護ト云フヤウナ點ニ於キマ
シテ、莫大ナ經費ヲ必要トシテ居
ル洵ニ同情スベキ狀態ニ相成ツテ
居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對
シマシテハ、今回ノ地方税制及ビ
財政ノ改正ニ當リマシテ、出來得
ル限りノ考慮ヲ之ニ加ヘテ居ルノ
デアリマス、即チ戰災ニ依ル地方
税ヲ減收ノ半分位ハ此ノ配付税ニ
依リマシテ補填ヲスルト云フヤウ
ナコトモ考慮致シテ居リマス、尙
又從來ハ配付ノ標準ニ於キマシテ
大體人口ニ對當テ配當ラシテ居
タノデアリマス、所ガ大都市ニ於
ケル財政需要ガ非常ニ餘分ニ要リ
マスノデ、ソレニ順應サセル爲ニ
特ニ今度ノ改正ニ於キマシテハ、
大都市ニ於キマシテハ現實人口ヲ
三倍スル、ソレカラ普通都市ニ於
キマシテ二倍、一般町村ニ於テニ
倍ト云フヤウナ、割増人口ヲ特ニ
人口集中都市ニ高クスルト云フヤ
ウナ方法ヲ講ジマシテ、出來ルダ
ケ現實ノ財政需要ニ照應サセルコ
トヲ試ミテ居ルノデアリマス、併
シ是等ノ外ニ於キマシテ、御話ノ
如ク戰災ヲ復興スルト云フヤウナ
臨時ニ巨額ノ費用ヲ要シマスルモ
ノハ、起債ニ依ツテ始メマシナケ
レバナラスト云フコトニナルハ

當然デゴザイマスルガ、併シ此ノ
起債ニ付キマシテハ、私カラ申上
ゲ●スマデモナク國ノ財政、經濟
政策ノ上ニモ多大ノ關係ノアルコ
トデモゴザイマスシ、又一面ニ於
キマシテ聯合國側カラ國債及ビ地
方債ニ對スル嚴重ナル制約ヲ受ケ
テ居リマスヤウナ事情モアリマシ
テ、此ノ起債ヲ取扱フノハ實ハ非
常ニ扱ヒニクイ實情ニナツテ居ル
ノデアリマス、此ノ地方債ノ額ニ
付キマシテハ、現在戰災關係デ申
請額ガ十五億ニナツテ居ルノデア
リマス、其ノ中デ緊急已ムヲ得ズ
ドウシテモ許可ミナケレバナラ
ヌト云フノデ、既ニ許可致シマシ
タモノガ約二億七千萬圓ニ達シテ
居ルノデアリマス、是ハ地方債許
可總額ノ五億ノ中二億七千萬圓デ
アリマスガ、大半ガ戰災關係ノモ
ドウシテモ許可ミナケレバナラ
ヌモノガ六億位ハアルノデハナカ
ラウカト云フヤウニ豫想致シテ居
リマス、併シ此ノ取扱ニ付キマシ
テハ、先ニ申上ゲマシヤウナ國ノ
財政、經濟ノ方針ノ上カラシマス
制約、又聯合國ノ管理方針ニ根據
ヲ置キマシタ方ノ制約ガゴザイマ
シテ、其ノ兩者ノ制約ノ中デ措置
ヲ致スノデアリマス事實ハ已ム
ヲ得ナイコトデアリマシテ、ソコ
ニ出來ルダケ公正ヲ得マシテ、地
方ノ實情ニ合フヤウニ處理ヲ致シ
テ行ク積リデ居ル次第デアリマス

○上林山委員 戰災復興ノ公債が種々ノ制約ヲ受ケテ居ルコト云フコトハ分ツテ居ルノデアリマスルガモ更ニ必要ナル分ニ付テハ急速ナ解決ヲスベク努力ヲバ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

次ニ、只今御話ニナリマシタ戰災都市ニ對スル配付稅ノ率ヲ多クシテ居ルコト云フ内務大臣ノ御説明デアリマスルガ、私ハ燒ケタ都市ト燒ケナカッタ都市ハ財政ノ面カラ考ヘテ、細カク數字ニ當ツテ見マセヌガ、五十年ノ開キガ財政上ニ於テアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ少クトモコ、十年間位ハ、今改正案ヲ示サレテ居ル程度ノ配付稅ノ率デハナシニ、モツト積極的ナ率ヲ戰災都市ニ配付スルト云フヤウナ考ヘテ、此ノ點ガ一ツ

更ニ財源ノ枯竭シテ居ル地方ノ財政ヲ強化スル一ツトシテ、是ハ内務當局タケデハ出來ナイノデ、大藏當局ノ積極的ナ諒解ガ必要デアルト思ヒマスガ、地租トカ或ハ家屋稅、斯ウ云フヤウナモノヲ地方ニ委讓スルト云フヤウナ考ヘテ今日持ツテ居ナイカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○大村國務大臣 戰災都市ノ受ケテ居リマス財政的打撃ハ御話ノヤウニ相當深刻ナモノガアルコトハ事實デアリマス、併シ今回ノ地方分與稅ノ法律ヲ改正スルニ當リマ

シテ、府縣市町村ノ各個ノモノニ付キマシテ仔細ニ研究ヲ致シマシタ結果、配付稅ノ總額ヲ戰災都市ニノミ集中致シマス、一般市町村ガ立行力ナイト云フヤウナ面モアルコトデアリマス、ソレ等ノ點トモ睨ミ合ハセマシテ研究シマシタ結果、此處ニ御審議ヲ仰グヤウナ案ガ適當デアラウト云フ所デ提案ヲ致シタ次第デアリマス、併シ戰災都市ニ於キマシテ現下最モ多額ノ財源ヲ要スルノデアリマス

ガ、是等ハ前ニ御話ノアリマシタヤウニ、起債等ノ方法ニ依ツテ措置ヲ致シマシテ、今後改正分與稅法ニ依リマシテ年々相當收入ガ増額致スコトデアリマスカラ、其ノ起債ヲソレ等ノ増收ニ依ツテ、ナシ崩シニ償却スルト云フヤウナ方途モソコニ交ヘテ凌イデ行クト云フコトモ亦已ムヲ得ナイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙又地租、家屋稅、營業稅等ノ所謂三國稅ハ、本稅モ結局ハ各團體ニ還付サレテ居ルコトデアリマシテ、地方財政ノ立場カラノミ致シマス、三國稅ハソツクリ其ノ儘各地方團體ガ國庫カラ交付ヲ受ケテ居ル譯デアリマス、直接課稅ヲ致シマスト同ジ結果ニ相成ツテ居ルノデアリマス、唯之ヲ各地方團體毎ニ銘ニ課稅ヲ致シマス方ガ宜シイカ、乃至ハ現在ノ如ク國

一定ノ全國共通ノ基準ニ依ツテ課稅シタ方ガ宜シイカ、ト云フヤウ

ナ點ニ付キマシテハ、今後稅制改正ニ際シマシテ内務省ト致シマシテモ能ク研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、又大藏當局ニ對シマシテモ能ク御相談ヲ申シゲタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○上林山委員 私ハ此ノ際地方財政ノ強化、殊ニ戰災都市ノ復興ニ對スル財政ノ強化ト云フヤウナ意味カラ、大藏大臣ニモ兼テ御尋ね致シタイノデアリマスガ、一面是ハ地方財政ノ負擔ノ輕減バカリデナク、申上ゲマス如ク戰災復興ノ爲ニ開ニ合フト思ヒマス、更ニ又、「インフレ」ノ一ツノ對策ニモナルノデハナイイカト考ヘラレ

ルノデアリマスガ、各戰災都市ニ對シマシテ復興ノ富策ヲ全面的ニ許可スル意思ハナイカドウカ、此ノ點デアリマス、大藏大臣並ニ内務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 寶藏ハ、私ハ出來ルタケ一ツ地方ニヤツテ賈ヒタイ、是ガ寶藏ノ性質上宜イト思ツテ居リマスガ、唯全面的ニ勝手ニト云フコトデアリマス、是レ亦弊害モ生ズルト思ヒマスカラ、相當全國的ニ見渡シマシテ、何ト申シマスカ、中央デ大藏省トシテ統制ヲスル積リデアリマス、リウ云フ氣持デ考ヘテ居ルト云フコトニ御承知願ヒタイト思ヒマス

○大村國務大臣 内務省ト致シマ

シテハ、今大藏大臣ノ御答辯ト同ジヤウニ考ヘテ居リマス、尙ホ只今ノ所各府縣市町村各團體ニ之ヲ認メルト云フコトモ少シ行過ギノヤウニ考ヘテ居リマス、只今ノ所府縣ニ之ヲ認メルト云フ程度ガ適當デハナイイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○上林山委員 私ハ戰災都市ヲ中心ニシテト云フヤウナ意味デ申上ゲタノデアリマシテ、是非サウ云フ方面ニ積極的ナ御諒解ヲ願ツテ、富策ノ發賣ヲ許シテ戴キタイト考ヘル譯デアリマス、更ニ此ノ際伺ツテ置キタイノハ、地方稅ノ最モ有力ナ獨立財源デアリマスル所ノ三收益稅ノ附加稅、是等ノ負擔ヲ公平ニスル意味ニ於キマシテ、土地家屋ノ賃賃價格ヲバ現狀ニ即シテ改訂スル御意思ハナイイカ、是モ勿論大藏當局ノ御意見ヲ伺ハナクテハナラヌ問題デアリマスガ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

更ニ戰災者ガ建テテ居リマス所ノ簡易住宅、斯ウ云フモノニマデ課稅ヲスル意思アリヤ否ヤ、私ハ簡易住宅乃至ハ「バラック」程度ノ小住宅ニ對シテハ、コ、ハ、二、三年ハ税金ヲ取リナイ方ガ適切デアルト云フ考ヘハ含メテ御尋ね致シタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 地租、家屋稅ノ賃賃價格ハ、御承知ノ通り毎年改訂スルノデアリマセヌ、只今

ノ地租ハ昭和十一年四月一日現在デ調査ヲ致シタノデアリマス、隨ツテ本年調査スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、稅務署ニ於キマスル事務ガ非常ニ幅濫致シテ居ル關係上、此ノ賃賃價格ハ來年カラ始メルコトニ致シテ居リマス、家屋ノ賃賃價格ニ付テモ五年毎ニ改正スルコトニ相成ツテ居リマスノデ昭和二十三年カラ調査ヲ致スコトニ致シテ居リマス、隨ヒマシテ來年度カラ地租又其ノ翌々年カラ家屋ノ賃賃價格ヲ再調査致シマスノデ、其ノ際ニ於キマシテハ十分ニ實情ニ即シタ調査ガ出來ルコトト考ヘテ居リマス、尙ホ戰災地ニ於ケル簡易住宅ニ對シテハ、家屋稅ヲ免除シテハドウカ、斯ウ云フ御意見デゴザイマスガ、極ク粗末ナ數モ何モナイ本當ニ「トクシ」家ニ付テモ勿論課稅ハ致シテ居リマセヌ、併シ簡易住宅デゴザイマシテモ、相當程度ノモノニ付キマシテハ、ヤハリ課稅スルコトガ負擔力ニ副フ所以デアリマスノデ、其ノ點ハ十分考慮ノ上、家屋ト認メラレルモノニ付キマシテハ、家屋ノ賃賃價格ヲ設定シテ居ルノデアリマス、勿論此ノ際一坪當リノ建築費ガ非常ニ高イカラト云ツテ、ソレバ一定利廻デ逆算スルト云フヤウナコトデハナシ、現在ノ賃賃價格ト大體權衡ノ取レルヤウナ賃賃價格ヲ付シテ居ルヤウナ現狀デアリマス

○上林山委員 小住宅程度ノモノ

モ私ハ此ノ際一、二年ハ免稅シテ
實ハナケレバナラヌト云フ考ヘハ
持ツテ居ルノデアリマスガ、更ニ
是ハ別ノ機會ニ御相談申上ルコ
トニ致シマシテ、此ノ際直チニ家
屋稅ノ賃賃價格ヲ改正スル考ヘハ

ナイカ、近クヤル積リデアルケレ
ドモ、ソレガ出來ナイ、斯ウ云フ
話デアリマスガ、私ハモツト先デ
大藏當局ニ纏メテ御尋ネシタイノ
デアリマスケレドモ、家屋ノ問題

ガ出マシタノデ、此處デ家屋ノ問
題ダケニ付テ併セテ御尋ネシマ
ス、私ハモウ少シク社會政策的意
味ヲ之ニ加味セラレマシテ、簡易
住宅程度ノモノニ免稅スルガ、

假ニ五十坪以上ノ相當ノ邸宅、大
家屋等ニ對シマシテハ現在取ツテ
居ラレル程度ノ二倍以上ノ家屋稅
ヲ徵收シテモ宜イノダ、斯ウ云フ

ヤウナ考ヘテ持ツテ居ルノデアリ
マスガ、之ニ對シマシテ當局ハド
ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、此
ノ點ヲ伺ヒマス

○池田(勇)政府委員 現在ノ家屋
ノ賃賃價格ハ御承知ノ通り昭和十
七年四月一日現在ノニ據ツテ居リ
マス、ソレ以前ハ地方デ個々ニ賃
賃價格ヲ附ゲテ居リマシノデ、政

村ガ全國統一的一ニ調査致シマスノ
ハ、其ノ時ハ十七年ガ最初デア
リマシタノデ、地方ノ不均衡ヲ是
正スルノニ用ヒタ關係上、個々ノ
家屋ノ負擔力ニ付テ調査ガ十分デ

ナカツタ點モアルヤニ聞イテ居リ

マス、併シ只今ノ家屋ノ狀況カラ
考ヘマスナラバ、今後ノ賃賃價格
ノ調査決定ニ當リマシテ十分御意
見ノ存スル所ヲ尊重致シタイト考
ヘテ居リマス

○上林山委員 是ハ大藏大臣ニ御
尋ネ致シカツタノデアリマスガ、
順序ノ都合上、内務省ニモ關係ガ
アリマスノデ、兩大臣ニ併セテ御

尋ネ致シタイト思ヒマス、内務大
臣ノ御説明ニ依リマス、二億一
千六百萬圓ノ中ニハ使用料ノ増徴
ト行政整理費ヲ含シテ居ルノデア

リマスガ、此處ニ謂フ所ノ行政整
理費ト云フノハドウ云フ意味ヲ含
シテ居ルモノデアアルカ、其ノ構想

ヲ承リタイノデアリマス
○大村國務大臣 本年三月頃マデ
ノ間ニ、政府職員ニ對シマモテ、
相當ノ行政整理ガ行ハレタノデア

リマスガ、ソレト歩調ヲ一ニシマ
モテ、地方公共團體ニ於テモ人員
ノ整理ヲヤツタノデアリマス、其
ノ三月マデニヤリマシタ行政整理

ノ結果、大體本年度ニ於キマシテ
五千萬圓ノ餘裕ヲ生ズルコトニナ
リマシタノデ、之ヲ計上致シタノ
デアリマス、残りノ一億六千五百
萬圓ハ使用料、手数料等ノ増徴ヲ
今年度ニ於テ見積ツタ次第デアリ
マス

ルカドウカト云フコトニ付テ、大

藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマスガ、現ニ私共見マスルニ、政
府ノ機關ニ於テモ、或ハ仕事ノ都
合上カラ、職員ニ對シテハ過剩ヲ

生ジテ居ルト云フコトヲ考ヘルノ
デアリマスガ、此ノ政府ノ機關、
或ハ過剩職員ニ對スル所ノ行政整
理ヲ政府ハ斷行スル意思ガアルカ

ドウカ、御尋ネシタイノデアリマ
ス、今日私共官廳事務ヲ見テ居
リマスニ、優秀ナル職員ヲウント

待遇ヲ致シマシテ、之ニ能率ヲ上
ゲサスベク仕事ヲ整理スルコトガ
當然ダト考ヘルノデアリマス國民

ノ側ガ總テ負擔シテ居ルノデアリ
マスカラ政府ハ色々ナ困難ナ事情
モアリマセウケレドモ、茲ニ刻下

ノ現狀ニ即シタ行政整理ヲ斷行ス
ベキデアアル、今日官廳ノ事務ヲ見
テ居リマス、所ニ依ツテハ規定

上ノ半ドンヲ當然ノコトニシテ實
施シテ居ル所モアル、實ニ私ハ悠
長ナル態度デアルト考ヘルノデア
リマス、又鐵道ニ致シマシテモ、
國民ガ委託シテ送ツタ荷物ガ居カ
ナイ、中身ノ採取リガアル、或ハ
「サービス」ニ至ツテハハモウ
言語道斷デアアル、通信省ニシテモ
然リ、爲替ノ採取リガアル、或ハ
小荷物ノ中身ヲ採取ルト云フヤウ
ナ風ニ、私ハ現在ノ官廳事務ト云
フモノハ能率ガ上ラナイバカリデ
ナク、責任體制ト云フモノガ實ニ
確立サレテ居ナイ、斯ウ云フ現狀

カラ致シマスナラバ、不必要ナル

仕事ヲバ廢メ、或ハ色々ナ團體ニ
委讓シテ、仕事ノ量ヲ現在ニ即
シテ少クシテ、私ハ茲ニ政府部内
ノ行政整理ヲ斷行スル必要ガア
ル、アレモ作ラナケレバナラヌ、

是モ殖ヤサナケレバナラヌト云フ
ヤウナ風ニ私ハ今日見テ居ナイ、
之ニ對シマシテ大體ミニ大藏大臣
ノ御意見ヲ私ハ伺ヒタイ、更ニ内

務大臣ト致シマシテモ、私共地方
ニ於キマシテ地方事務所ノ仕事ハ
裏モ表モ能ク知ツテ居ル、或ハ地
方行政協議會ノ仕事モ能ク知ツテ

居リマスガ、是等ハ中間ノ色々ナ
機關デアリマシテ、決シテ國民ト
直結シタ大事ナ仕事ヲシテ居ル機

關トハ私共ハ思ハナイ、斯ウ云フ
ヤウナ點カラ致シマシテ、是等ノ
中間機關モ進シテ整理ヲシナケレ

バ、單ニ官僚ノ組織ヲ玆ニ色々ナ
理窟ヲ付ケテ溫存スルコトニナ
ル、斯ウ云フヤウナ氣持ヲ特ニ感
ズルノデアリマス、是等ニ對スル

所ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス
○石橋國務大臣 總括的ニ御答ヘ
申上ゲマスレバ、無論行政整理ハ
思ヒ切ツテ致サナケレバナラヌ
ト、斯ウ考ヘテ居リマス、現ニソ
レヲヤラウト既ニ掛ツテ居ル部面

機械的ニ墮シタト云フコトデハ本

當ノ行政整理ハ出來ナイ、ソレカ
ラ又サウ云フ風ニ減シマシテ、何
處ヘ其ノ仕事ヲ持ツテ行クカ、是

ハ政府ヂヤアリマセヌガ、隣組ト
カ町會ヘ其ノ仕事ヲ押付ケテ、サ
ウシテ役所ノ仕事ヲ減ラス、是デ

ハ本當ノ整理ニナリマセヌ、唯人
員ヲ減ラスト云フ觀點カラダケデ
ナク、モツト役所ノ仕事其ノモノ

ヲ一ツ見直シテ掛ル必要ガアルト
考ヘテ居ル譯デアリマス、サウナ
リマストハ簡單ニ各省ヲ一割減

ラストカ、二割減ストカ云フヤウ
ナ簡單ナコトデハナイノデアリマ
シテ、相當ノ研究ヲ要シナケレバ

ナラヌ問題ダト考ヘテ居リマス、
左様ナ考ヘテ持ツツ、無論出來
ル所カラ所謂行政整理ト云フコト

ハ強力ニ行ハレナケレバナラヌ
ト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リ
マス
○大村國務大臣 地方事務所、地
方行政事務局ノ制度ノ問題デアリ
マスガ、此ノ兩者ニ付キマシテ
ハ、現下ノ國情カラ見マシテ今直
チニ之ヲ廢止致シマシテハ、統制
經濟ノ運行上ニ於キマシテ非常ナ
支障ガ起ルト云フコトガ明カデア
リマス、此ノ際ハ廢止スル譯ニ
參ラスト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、唯其ノ將來ニ付キマシテハ、
今後我が國ノ經濟統制其ノ他ノ經
濟情勢ガドウ云フ工合ニナツテ參
リマスカ、其ノ歸趨トモ睨ミ合ハ

セテ、能ク研究シテ見タイト考ヘテ居リマス、尙ホ地方行政ガ今ノ地方制度ノ改正ニ依ツテ非常ニ民主化サレルト云フコトニナリマスト、例ヘバ公選知事ノ下ニ於ケル地方事務所ノアリ方ト云フモノニ付キマシテハ、ソコニ民主的ナル改善ヲサレル機會ガ遠カラズナルト思フノデアリマス、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテ、若シ將來ニ於キマシテ、地方事務所ヲ存置スル必要ガアルト云フコトニナリマシテモ、其ノ所長ノ人選等ニ付キマシテハ、餘程今ヨリ改善サレルコトト思フノデアリマス、併シ其ノ時機ニ至ルマデヲ俟タズ、我々ト致シマシテハ地方行政事務局及ビ地方事務所ノ人ノ任用方乃至ハ事務ノヤリ方ニ付キマシテハ、出來ルダケノ改善ヲ致ス積リデアリマス

ウニ、團體ノ職員ノ給與ヲ良クシマス反面ニ於キマシテハ、剩員ハ思ヒ切ツテ整理ヲスル、此ノ邊ニ一ツ地方團體ノ自治制ノ特質ヲ大イニ發揮シテ職キタイト私共考ヘテ居ル次第デアリマス

○上林山委員 行政整理ヲ政府ガ斷行スル用意ガアルト云フコトヲ承リマシテ、私共國民ガ其ノ負擔ノ過重ヲ受ケテ居ル今日、是ハ當然ノコトデアアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、尙ホ補償打切ニ依リマシテ民間側ニ失業ガ續出スルシ、之ニ對シマシテハ六十億ノ公共事業、或ハ生活保護法ノ三十億、其ノ他ノ用意ガ一應サレテアリマスガ、之ヲ以テシテハ、私ハ激増スル失業ガ對策トシテハ十分デナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、何下致シマシテモ、茲ニ綜合的ナ私ハ産業ノ再配置ト云フコトヲ要望スルモノデアリマス、即チ土地ハ狹小デアアルシ、資源ハ少イ所ノ日本トシテハ之ヲ先ツ第一ニ政府ガ確立スル必要ガアル、其ノ確立ガアツテ初メテ私ハ行政部内ニ於テモ、所謂政府部内ニ於テモ思ヒ切ツタ所ノ行政整理ト云フモノガ出來ルノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ産業ノ再配置ト云フモノニ對シマシテ大藏大臣ハドウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居ルカ、是ハ軍口經濟安定本部ノ仕事ニナルノデアリマスガ、大藏大臣ノ立場

カラ一應之ヲ私ハ承ツテ、行政整理ト並行シテ如何ニヤラナケレバナラヌカト云フ意味ニ於テ、御尋ネシテ置キタイノデアリマス

○石橋國務大臣 御話ノ如ク是ハ大藏省ダケノ問題デハゴザイマセヌガ、大體只今ノ政府ノ考ヘ方ノ方向ヲ申上ゲマスト、今マデノ主要ナル産業、石炭デアリマストカ、肥料デアリマストカ、鐵デアリマストカ云フモノハ、大體賠償其ノ他ノ關係デ梓ガ決マツテ居ルヤウデアリマス、其ノ範圍ニ於テ適當ニ配置スル、斯ウ云フコトハ殆ド決マツタヤウナモノデアリマス、其ノ外ニ於テハ成ベク地方ニ産業ヲ分散シタイ、例ヘバ工業ノ如キデモ、農村工業ト云フヤウナモノニ、出來ルダケリウ云フ方向ヘ持ツテ行クト云フコトデ參ル、ソレカラ自然中小工業ト云フヤウナモノモ、現在アリマスト云フモノハ、ソレモ育成シテ行カナケレバナラヌ、地方ニ之ヲ分散シテ行クト云フコトガ出來レバ、出來ルダケ分散スル、斯ウ云フヤウナ方向デ只今差詰メノ方策ヲ研究シテ居リマス

モ積極的ニ之ニ「タツチ」シテ職キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ私ガ最モ聽キタイノハ、大藏大臣ガ本會議並ニ豫算總會ニ於キマシテ、稅制ノ根本的ナ改革ヲ考慮シテ居ルト云フ風ニ發表セラレタノデアリマスガ、此ノ根本的ナ稅制ノ改革ニ對スル構想、或ハ方向ト云フヤウナモノニ付テ、此ノ際大體ミニ承ツテ置キタイノデアリマス、尙ホ之ニ對シマシテ、是ハ事務當局ノ考ヘテ居ラレコトデアアルノデアリマスガ、日本ノ稅制ハ非常ニ進歩的デ、完全デアツテ、世界ノ何處ノ稅制ニモ比較シテ遜色ガナイト云フヤウナ御意向ヲ持ツテ居ラレラニ承ルノデアリマスガ、サウ云フ考ヘガアルカドウカ、ソレト大藏大臣ノ本會議ヤ、豫算總會ニ於ケル言明トハ何等矛盾シナイカ、此ノ點ニ付テ私承ツテ、今後ノ稅制ノ審議ノ參考ニ致シタイト考ヘルノデアリマス

○石橋國務大臣 此ノ問題ハ非常ニ重大ナ問題デアリマスト云フモノハ具體的ニモウ少シク御尋ネ致シカツタノデアリマスガ、大藏大臣ガ時間ノ都合モアラレルサウデアリマスルカラ、此ノ程度デ措キマスケレドモ、一ツ大藏大臣トシテ

實フト云フ程度ニ止マツテ居ルモノデアリマシテ、私ナドモ政府ノ委員會ニ可成リ多ク關係致シマシテ、何時モ不滿ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、サウデナク、今度ハ一ツ政府ノ原案ト云フモノナシニ、本當ニ其ノ委員會カラ創意ヲ出シテ欲シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ノ方カラ政府ノ原案ヲ押付ケルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、隨テ其ノ調査會デドンナ案ガ作ラレカハ、豫メ政府ニハ分ラヌ譯デアリマス、同時ニ其ノ案ガ出來マシテモ、ソレガ其ノ儘政府ニ於テ實行出來ルカドウカ、是ハ行政上ノ責任デアリマスカラ、或ハ其ノ案ハ實行出來ナイト云フコトニナルカモ分ラヌ、サウ云フ風ニ構想デ、一ツ各方面カラノ創意ヲ出シテ職キタイト考ヘテ居リマス、現在ノ稅制ニ對シテハ、實ハ私ハ稅ノ方ノ專門家デアリマセヌカラ、餘リ大キナコトハ言ヘナイノデアリマスガ、所得稅ヲ中心ニシタ日本ノ此ノ稅制ハ、建前トシテハ惡クナイト考ヘテ居リマス、唯稍ミ複雑デ、所得稅ナドモ少シ複雑過ギルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマスガ、稅制ノ骨格ニ於テハ、ドンナ案ヲ立デマシテモ、所得稅中心デ行ク以外ニハ方法ハナイ、唯戰時中色々ノ收入ヲ上ゲル等ノ關係カラ、物品稅デアリマストカ、今度行爲稅ハ廢メ

尙ホ序デニ申上ゲテ置キタイト思ヒマストガ、今後地方團體ノ稅負擔ハ非常ニ重クナルノデアリマシテ、ソレ等ノ團體ニ於キマシテ、若シモ冗員ヲ擁シテ居ルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、地方團體ノ自主性、自立性ニ依リマシテ、ソレ等ハ一ツ思ヒ切ツタ整理ヲシテ貰ヒタイト思ヒマス、從來政府ガ一割整理ヲスルカラ、地方團體モ其ノオ附合ヒマスルト云フヤウナ形式的ナコトヲ一擲致シマシテ、各地方自治團體ノ實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

○上林山委員 此ノ問題ハ非常ニ重大ナ問題デアリマスト云フモノハ具體的ニモウ少シク御尋ネ致シカツタノデアリマスガ、大藏大臣ガ時間ノ都合モアラレルサウデアリマスルカラ、此ノ程度デ措キマスケレドモ、一ツ大藏大臣トシテ

實フト云フ程度ニ止マツテ居ルモノデアリマシテ、私ナドモ政府ノ委員會ニ可成リ多ク關係致シマシテ、何時モ不滿ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、サウデナク、今度ハ一ツ政府ノ原案ト云フモノナシニ、本當ニ其ノ委員會カラ創意ヲ出シテ欲シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ノ方カラ政府ノ原案ヲ押付ケルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、隨テ其ノ調査會デドンナ案ガ作ラレカハ、豫メ政府ニハ分ラヌ譯デアリマス、同時ニ其ノ案ガ出來マシテモ、ソレガ其ノ儘政府ニ於テ實行出來ルカドウカ、是ハ行政上ノ責任デアリマスカラ、或ハ其ノ案ハ實行出來ナイト云フコトニナルカモ分ラヌ、サウ云フ風ニ構想デ、一ツ各方面カラノ創意ヲ出シテ職キタイト考ヘテ居リマス、現在ノ稅制ニ對シテハ、實ハ私ハ稅ノ方ノ專門家デアリマセヌカラ、餘リ大キナコトハ言ヘナイノデアリマスガ、所得稅ヲ中心ニシタ日本ノ此ノ稅制ハ、建前トシテハ惡クナイト考ヘテ居リマス、唯稍ミ複雑デ、所得稅ナドモ少シ複雑過ギルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマスガ、稅制ノ骨格ニ於テハ、ドンナ案ヲ立デマシテモ、所得稅中心デ行ク以外ニハ方法ハナイ、唯戰時中色々ノ收入ヲ上ゲル等ノ關係カラ、物品稅デアリマストカ、今度行爲稅ハ廢メ

實フト云フ程度ニ止マツテ居ルモノデアリマシテ、私ナドモ政府ノ委員會ニ可成リ多ク關係致シマシテ、何時モ不滿ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、サウデナク、今度ハ一ツ政府ノ原案ト云フモノナシニ、本當ニ其ノ委員會カラ創意ヲ出シテ欲シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ノ方カラ政府ノ原案ヲ押付ケルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、隨テ其ノ調査會デドンナ案ガ作ラレカハ、豫メ政府ニハ分ラヌ譯デアリマス、同時ニ其ノ案ガ出來マシテモ、ソレガ其ノ儘政府ニ於テ實行出來ルカドウカ、是ハ行政上ノ責任デアリマスカラ、或ハ其ノ案ハ實行出來ナイト云フコトニナルカモ分ラヌ、サウ云フ風ニ構想デ、一ツ各方面カラノ創意ヲ出シテ職キタイト考ヘテ居リマス、現在ノ稅制ニ對シテハ、實ハ私ハ稅ノ方ノ專門家デアリマセヌカラ、餘リ大キナコトハ言ヘナイノデアリマスガ、所得稅ヲ中心ニシタ日本ノ此ノ稅制ハ、建前トシテハ惡クナイト考ヘテ居リマス、唯稍ミ複雑デ、所得稅ナドモ少シ複雑過ギルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマスガ、稅制ノ骨格ニ於テハ、ドンナ案ヲ立デマシテモ、所得稅中心デ行ク以外ニハ方法ハナイ、唯戰時中色々ノ收入ヲ上ゲル等ノ關係カラ、物品稅デアリマストカ、今度行爲稅ハ廢メ

實フト云フ程度ニ止マツテ居ルモノデアリマシテ、私ナドモ政府ノ委員會ニ可成リ多ク關係致シマシテ、何時モ不滿ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、サウデナク、今度ハ一ツ政府ノ原案ト云フモノナシニ、本當ニ其ノ委員會カラ創意ヲ出シテ欲シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ノ方カラ政府ノ原案ヲ押付ケルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、隨テ其ノ調査會デドンナ案ガ作ラレカハ、豫メ政府ニハ分ラヌ譯デアリマス、同時ニ其ノ案ガ出來マシテモ、ソレガ其ノ儘政府ニ於テ實行出來ルカドウカ、是ハ行政上ノ責任デアリマスカラ、或ハ其ノ案ハ實行出來ナイト云フコトニナルカモ分ラヌ、サウ云フ風ニ構想デ、一ツ各方面カラノ創意ヲ出シテ職キタイト考ヘテ居リマス、現在ノ稅制ニ對シテハ、實ハ私ハ稅ノ方ノ專門家デアリマセヌカラ、餘リ大キナコトハ言ヘナイノデアリマスガ、所得稅ヲ中心ニシタ日本ノ此ノ稅制ハ、建前トシテハ惡クナイト考ヘテ居リマス、唯稍ミ複雑デ、所得稅ナドモ少シ複雑過ギルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマスガ、稅制ノ骨格ニ於テハ、ドンナ案ヲ立デマシテモ、所得稅中心デ行ク以外ニハ方法ハナイ、唯戰時中色々ノ收入ヲ上ゲル等ノ關係カラ、物品稅デアリマストカ、今度行爲稅ハ廢メ

實フト云フ程度ニ止マツテ居ルモノデアリマシテ、私ナドモ政府ノ委員會ニ可成リ多ク關係致シマシテ、何時モ不滿ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、サウデナク、今度ハ一ツ政府ノ原案ト云フモノナシニ、本當ニ其ノ委員會カラ創意ヲ出シテ欲シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ノ方カラ政府ノ原案ヲ押付ケルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、隨テ其ノ調査會デドンナ案ガ作ラレカハ、豫メ政府ニハ分ラヌ譯デアリマス、同時ニ其ノ案ガ出來マシテモ、ソレガ其ノ儘政府ニ於テ實行出來ルカドウカ、是ハ行政上ノ責任デアリマスカラ、或ハ其ノ案ハ實行出來ナイト云フコトニナルカモ分ラヌ、サウ云フ風ニ構想デ、一ツ各方面カラノ創意ヲ出シテ職キタイト考ヘテ居リマス、現在ノ稅制ニ對シテハ、實ハ私ハ稅ノ方ノ專門家デアリマセヌカラ、餘リ大キナコトハ言ヘナイノデアリマスガ、所得稅ヲ中心ニシタ日本ノ此ノ稅制ハ、建前トシテハ惡クナイト考ヘテ居リマス、唯稍ミ複雑デ、所得稅ナドモ少シ複雑過ギルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居リマスガ、稅制ノ骨格ニ於テハ、ドンナ案ヲ立デマシテモ、所得稅中心デ行ク以外ニハ方法ハナイ、唯戰時中色々ノ收入ヲ上ゲル等ノ關係カラ、物品稅デアリマストカ、今度行爲稅ハ廢メ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

實情ニ立脚シテ十分能率ノ上ルヤ

ルコトニナリマスガ、其ノ行爲稅
デアルトカ、色々サウ云フモノガ
出來マシタ成立ニ於テモ無理ナモ
ノガ相當ニ現ハレテ居リマス、斯
ウ云フモノハ、是ハモウ出來ルダ
ケ早イ機會ニ改正ヲシナケレバ
ラス、隨テ所謂根本的改革ト云フ
モノガ何處マデ、ドンナ新工太ガ
現ハレマスカ分リマセヌガ、少ク
モ戰時中ニ色々コトヲヤツテ來
マシタ結果、寧ロ日本ノ稅制ノ良
イ所ヲ惡クシテ居ルヤウナ關係ガ
アリマスカラ、サウ云フ所ハスツ
カリ改メタイ、斯ウ云フヤウニ考
ヘテ居リマス

○上林山委員 事務的ナ改正ニ對
スル藏相ノ方針ハ分ツタノデアリ
マスガ、内容的ナ意味ニ於ケル方
向ト云フコトヲ詳シク根本的ニ御
伺ヒ出來ナイコトヲ遺憾ニ思フノ
デアリマスガ、之ニ對スル御方針
ガ承レルナラバ承リタイ

尙ホ是ハ政府ノ全官廳ニモ通ズ
ルコトデアリマスガソレハ行政事
務ニ政治ガ先行シナケレバナラヌ
ト云フコトデアリマス、今マデ官
僚ニ色々慣ラレテ來テ居ル點
カラ、事務ガ主デアツテ政治ガ從
デアルト云フヤウナ觀念ヲ私共ハ
特ニ持ツノデアリマス、此ノ稅制
ト云フモノニ付テハ殊ニ其ノ感ガ
深イノデアリマシテ只今藏相ガ廣
汎ナル委員會ヲ設置スルト云フコ
トニ對シテハ贊意ヲ表スル者デア
リマスガ、殊ニ第一線ノ仕事ヲヤ

ツテ居リマス所ノ地方ノ稅務署關
係ノ調査員其ノ他ニ付テモ、私ハ
モウ少シ積極的ナ、效果的ナ、所
謂民間團體ノ意思ヲ採リ入レテ、
此ノ稅ハオ互ヒガ政府ト國民ト共
ニ協力シテヤツテ居ルンダト云フ
ヤウナ態勢ヲ強ク滲透セシムル必
要ガアル、斯ウ云フヤウニ考ヘル
ノデアリマスガ、之ニ對スル内容
的ナ所謂稅制ノ改革ノ方向ト言ヒ
マスガ、サウ云フ點ニ付テ併セテ
御伺ヒ致シテ置キタイノデアリ
マス

○石橋國務大臣 先程中上ゲマシ
タ通り、私ハ稅ニ付テハ素人デア
リマスカラ、寧ロ素人ノ考ヘノ範
圍ヲ出ナイノデアリマスガ、ヤハ
リ私ノ考ヘル限リニ於テハ、所得
稅中心ノ稅制ト云フモノガ適當デ
アルト云フコトダケハ私ノ信ズル
所デアリマス、但シ其ノ所得稅ヲ
ドウ云フ風ニヤルカ、日本ノ現在
ノ所得稅ハ可ナリ緻密ニ出來テ居
ルト思ヒマス、其ノ代リ少シ複雑
デアリマス、英國アタリノ所得稅
ハ、最近ノコトハ知リマセヌガ、
非常ニ簡單ノヤウデアリマス、出
來レバ簡單ナヤリ方ガ實ハ宜イノ
デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ
居リマスノデ、若シ政府ガ稅制ノ
改革案ヲ立テルト致シマスレバ、
左様ナ觀點カラ成ベク稅制ハ簡單
化シテ、而モ負擔ノ公平ヲ期シ得
ラレルト同時ニ、財政ノ情況ニ依
ツテ伸縮性ノアル——是ハモウ一

番所得稅ガ伸縮性ガアルト思ヒマ
スガ、財政ノ情況ニ宜ケレバ直チ
ニ英國アタリハ我々ハ能ク分
リマセヌガ、今年ハ「ボンド」
ニ付テ幾ラ、是ダケ言ハバ英國ノ
其ノ年ノ稅ノ關係ガ分ルト云フ風
ナ所マデ行クト非常ニ宜イノデハ
ナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス
ソレカラ稅務署ノ關係ニ、只今
主稅局ナドトモ相談シテ居ルノデ
デアリマスガ、大分知識階級ノ人達
デ業ヲ失フ人モアリ、失ハントシ
テ居ル譯デアリマスカラ、此ノ際
優秀ナ稅務官吏ヲ育成シタイト云
フ風ニ考ヘテ、稅務署ノ内部ノ人
的要素モ良イモノニシタイト、段
段考ヘテ居リマス、次ニ民間ノ意
見ヲ入レルト云フコトハ、是ハヤ
ハリ私外國ノ例ヲ餘リ存ジマセヌ
デスガ、「アメリカ」アタリニハ
所得調查委員ト云フヤウナモノモ
ナイノダサウデアリマスガ、寧ロ
ア、云フモノガアツテ、是ガドウ
云フ風ニ運營サレテ居ルカト云フ
コトハ、箇々ノ場合デ非常ニ良イ
モノモアリマセウシ、或ハ惡イモ
ノモアリマセウケレドモ、兎ニ角
民間ノ意見ヲ容レルト云フ制度ハ
「アメリカ」ニハナイ、アンナモ
ノハ餘計ナモノデヤナイカト云フ
說モ、「アメリカ」ナドニハアル
ヤウデス、併シナガラ是ハ日本ノ
實情トシテア、云フモノガ是非ア
ツテ、ノミナラズア、云フ機關ヲ
モツト充實シタモノニスル必要ガ

アルノデハナイカト私共ハ考ヘテ
居ルヤウナ次第デアリマス、尙ソ
レ等ノ點ノ細カイ技術的ナ點ニ付
テハ主稅局長カラ中上ゲマス

○上林山委員 大キナ項目ダケヲ
大藏大臣ニ承ツテ置キタイノデア
リマスガ、私ハ今度ノ中央、地方
ヲ通ズル此ノ稅制ノ改正案ハ、單
ナル改正案デハカクシテ、大増稅
案デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、政府ガ複雑ナ國際的
ナ環境ノ裡ニ、或ハ疲弊シ切ツテ
居ル所ノ國家財政ノ中ニ、産業ノ
再開ト云フコトヲ念頭ニ置キ、或
ハ社會政策的ナ要素ヲ加味シテ、
改正セラレタト云フコトハ、私共
常識的ニ意見ノ一致スル所デアリ
マスケレドモ、先程カラ中上ゲマ
スヤウニ、殊ニ社會政策的ナ考ヘ
方ヲ、モウ一步モ二歩モ進ンデ考
ヘテ藏力ナケレバナラヌデハナカ
イ、斯ウ云フ風ニ私ハ強ク考ヘル
者デアリマス、殊ニ税金ハ俗ニ云
ハレテ居リマスヤウニ、上ニ厚ク
下ニ薄ク課稅體制ヲ確立シナケレ
バナリマセヌシ、殊ニ不勞所得ニ
對シマシテハ重ク課稅スルト同時
ニ、勤勞所得ニハ之ヲ輕ク課稅ス
ルト云フコトガ、最も公平妥當ナ
所ノヤリ方デアツテ、負擔ヲスル
國民ノ側モ、能ク納得スルコトガ
出來ルト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、併シナガラ今中上ゲマスヤウ
ニ、國民ノ義務デアアル所ノ此ノ納
稅ガ、政府ノ方カラ無理失理ニ官

僚的ニ形式的ニ税金ヲ掛ケヨウト
スルシ、國民ノ側デハ出來ルダケ
脫稅ヲシテ、税金ヲ少クシヨウト
スル者モ相當アルノデアリマシ
テ、是ハハツツノ鬭爭的ナ觀ヲ呈シ
テ居ル嫌ヒガアルノデアリマシ
テ、洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデア
リマスガ、改正憲法案ノ中ニモ
自由黨其ノ他ノ他ノ同意ニ依リマ
シテ、是ガ國民ノ義務トシテ納稅
ノ義務ガ採入レラレルコトニナツ
タノデアリマスルガ、サウ云フヤ
ウニ憲法ニ單ニ規定ヲ致シタト云
フダケデハナシニ、私ハ茲ニ進シ
デ新タナ所ノ稅制ノ改正ヲ確立ス
ル——ツツ示唆シテ政府ニ進言申
上ゲタイノハ、先程中上ゲマスル
ヤウニ、政府ノ方デハ無理ニ取ラ
ウ、國民ノ方ハ出來ルダケ脫稅シ
ヨウ、此ノ風潮ハ平和的ニ起チ上
ラナケレバナラヌ、此ノ疲弊困憊
シテ居ル日本トシテハ、洵ニ殘念
ナコトデアルト私ハ考ヘマス、或
ハ私ノ言フコトガ單ナル痴人ノ夢
デアルカモ知レマセヌケレドモ、
ソコニ私ハ單ナル規則、今マデノ
ヤリ方ニ因ハレルダケデハナシ
ニ、ハツツ新ラシイ方向ヲ國民ニ
與ヘル必要ガアルノデハナイカ、
ソレハ假ニ自分ノ税金ガ思ツタヨ
リモ安カツタ、サウ云フヤウナ場
合ニハ、國民ハ自ら進ンデ國家ニ
税金ヲスル、其ノ自分ノ胸算用ニ
依ツタ其ノ差額ヲ國家ニ納メル、
名ヲ付ケマスナラバ良心稅トデモ

云フヤウナ名目、或ハ此ノドン底カラ起チ上ラナケレバナラヌ日本再建ノ時ニ、所謂平和國家建設稅ト云フヤウナ意味ニ、茲ニ國民ノ人デモ宜シイ、サウ云フヤウナ税金ヲ納メルコトノ一ツノ門戸ヲ國家的ニ開放シテ置クト云フコトガ、一ツノ徵稅上ノ反省ノ資料ニナルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ私ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレカ、一ツ承ツテ見タインデアリマス、或ハ是レ以外ニ何等カ、斯ウ云フ面ニ向ツテ新タナ方向ヲ具體的ニ持ツテ居ラレバ、一ツデモ宜イノデアリマスルガ、其ノ例ヲ御示シテ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○石橋國務大臣 只今ノ說ハ非常ニ興味ノアル考究ヲ要スル問題デ、私モソレガ果シテ具體的ニドウ云フヤウニ稅トシテ作リ得ルヤ否ヤ、サウ云フ技術的ノコトハ分リ兼ネマスルガ、考ヘ方トシテハ非常ニ結構ダト存ジテ居リマス、隨テソレハ眞面目ニサウ云フコトヲ研究シテ見ヨウト思ヒマス

○上林山委員 次ニ私ハ勤勞所得稅ニ付テ御尋ネテ致シタイト思フノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウナ線ニ沿ヒマシテ、例々者ガオ互ヒ國家國民ノ爲ニ分ニ應ジテ税金ヲスルト云フコトハ、私ハ一種ノ誇リデアルト云フ氣持ヲ持チタイモノダト考ヘルノデアリマ

ス、故ニ餘リニ階級的ナ意識ニ強ク捉ハレマシテ、大衆ニ媚ビテ居ル人々ガ一部說ヲナメテ居ルヤウニ、勤勞所得稅ヲ全面的ニ廢止セヨト云フコトニ對シマシテハ、私ハ遽カニ之ニ賛成スル者デハナイノデアリマス、殊ニ所得稅中ノ主要ナル部分ヲ成シテ居ル所ノ勤勞所得稅ノコトヲ考ヘマス時ニ、是ハ言フベクシテ、行フコトノ出來キイ日本ノ現狀デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、勿論是ハ言フマデモナク、併シナガラ大衆的ナ課稅デアアル、或ハ不勞所得デナクシテ、勤勞ノ所得デアルト云フヤウナ性格ニ鑑ミ、マシテ、政府ニ於ケレマシテモ更ニ一歩進ンデ、社會政策的ナ意味ヲ含ンデ免稅點ノ引上ヲ此ノ際斷行スル、是ガ私ハ最も適切ナル改正ノ方向デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、其ノ基準ヲ示シマスナラバ、今日五百圓生活モ難カシイノデアリマスガ、先ツ五百圓ヲ基準ニ致シマシテ、年六千圓ダケハ免稅スル、ソレ以上一萬圓ヲ超過シタモノニ對シマシテハ、現在ノ案ヨリモ一歩二歩モ進メマシテ、之ヲ百分ノ三十ト云フ位ニ引上ゲテ課稅スルト云フヤウナ考ヘ方デハドウカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、アレモ出來ナイ、是モ出來ナイト

云フノハ、私ハ餘リ思ヒヤリノ足ラナイ考ヘデハナイカト云フ風ニ考ヘマスノデ、誠意ノアル所ヲ御示シテ願ヒタイ、殊ニ此ノ問題ハ前ノ大藏大臣デアツタ澁澤サシガ議會ニ於テ、政府トシテハ將來勤勞所得稅ヲ引上ゲル考ヘハナイ、遽カニ廢止ハ出來ナイガ、少クトモ之ヲ引上ゲル考ヘハナイ、斯ウ云フヤウナ答辯ヲシテ居ラレルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ意味カラ致シマシテ、連帶的責任ノアル政府ト致シマシテ、何ガ故ニ茲ニ僅カナカラデモ此ノ稅率ヲ引上ゲタカ、其ノ間ノ事情ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 日本ノ租稅制度ガ外國ノソレニ比ベテ事務當局ハ宜イト云フ自信ガアルヤウデアルト云フ風ヲ御話デゴザイマシタガ、現在マデノ我が國ノ社會經濟上カラ申上ゲマスルト、我々ハ各國ノ租稅制度ニ比較致シマシテ決シテ劣ツテ居ナイト云フ信念ヲ主稅當局ハ持ツテ居ツタノデゴザイマス、問題ノ勤勞所得稅ニ付テ御話デゴザイマシタガ、勤勞所得稅ニ付テ英米獨ト比ベマシテ、殊ニ「ドイツイ」ハ敗戦後ノ稅制カラ申シマシテ、日本程勤勞所得者ニ對シテ課稅上ノ優遇ヲシタノハ外ニナイノデゴザイマス、日本ノ稅制ハ勿論緻密複雜デアリマス、併シ是ハ社會正義ノ原則ニ沿フヤウ

ニ、出來ルダケ「マッチ」スルヤウニ建テタ爲ニ斯ク複雑ニ相成ツタノデアリマス、「イギリス」ニ於キマシテハ勤勞所得ニ對シテ一割ノ控除ヲ致スコトニ致シテ居ルマサルガ、是ハ百五十「ポンド」以下ノ勤勞所得デアアル、而モ亦其ノ特典ハ事業所得等ノ他ノ所得稅ニモ與ヘテ居リマス關係デ、英國ニ於キマシテハ勤勞所得者ニ對スル課稅上ノ優遇ハ致シテ居リマセヌ、又「アメリカ」ニ於キマシテモ、以前ハ勤勞所得ニ對スル一割ノ控除ヲ致シテ居リマシタガ、一九四三年カラ勤勞所得ニ對スル一割ノ控除ヲ全廢致シマシタ「ドイツイ」ハ敗戦後ノ租稅制度ニ於キマシテハ、相當程度ノ勤勞所得者ニ對スル優遇ヲ規定致シテ居リマスガ、今回ノ我が國ノ如ク優遇致シテ居ル國ハナイノデアリマス、只今月五百圓以下ノ者ニハ所得稅ヲ課稅シナイヤウニシタラドウカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス、我々トシテモ十分検討致シマシタガ、私ノ今見ル所デハ、勤勞所得者ノ平均八年五千五百圓ヲ推算シテ居ルノデアリマス、之ヲ昨年或ハ昨年ニ比ベマス、三倍或ハ四倍以上ノ收入ヲ見込シテ居リマス、斯ク見込ミマシテ、之ヲ五百圓控除ニ致シマシタラバ、本年度増稅後ニ於ケル三十四億圓餘リノ收入ハ殆ド四分ノ一、或ハ五分ノ一位ニナルカモ分ラナイノデアリマス、

之ヲ二百圓ヲ三百圓ノ基礎控除ニ致シマスルト、即チ百圓控除上ゲルコトニ依ツテ稅額ハ十四億圓餘減ルコトニナルノデアリマス、財政收入カラ申シマシテモ、又今ノ實際ノ俸給ノ狀況カラ申シマシテモ、此ノ程度ハ已ムヲ得ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、又一萬圓以上ノ勤勞所得者ニハ尙ホ此ノ上増徴シテハドウカ、三十「パーセント」位ノ課稅ヲシテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御意見デゴザイマスルガ、只今ノ稅法デモ勤勞所得者ノ一萬圓以上ノ金額ニハ三十五「パーセント」稅率デ徵收スルコトニ相成ツテ居リマス、分類所得稅二十「パーセント」、綜合所得稅三十五「パーセント」、相當キツイ稅ニ相成ツテ居リマスノデ、ドウシテモ我が國ノ國情、國民所得ノ狀況、即チ所得ノ配分狀況カラ申シマス、此ノ程度デ致シ方ナイノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス

尙ホ最後ニ、澁澤前藏相ガ議會デ勤勞所得ニ付キマシテハ出來ルダケ上ゲナイヤウニ考ヘル、斯ウ云フ御話ガアツタト承リマス、ガ、私ノ想像デハ多分昨年暮ノ議會デアツタト思ヒマス、而シテ今回ノ増稅ヲ致シマシテモ、尙ホ昭和二十年分ノ國民ノ勤勞所得ニ對スル負擔ト、昭和二十一年分ノ、即チ増稅後ノ勤勞所得者ノ負擔ヲ比ベマス、去ル三月九日、緊急勅令デ基礎控除五十圓ヲ月二百圓

ニ上ゲマシタ關係上、又今回ノ稅率ガ百分ノ二ノ引上ニ止マリマシタ關係上、二萬圓以下ノ勤勞所得者ハ、昭和二十年ニ負擔シタ金額ヨリモ昭和二十一年ノ方ガ少ク相成ルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○上林山委員 勤勞所得ノ免稅點ノ問題ニ付テハ、三百圓、四百圓、五百圓マデノ所得別表ヲ作ツテ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイノハ、不勞所得ニツデアリマス所ノ相續財產ニ對スル所謂相續稅ノ改正稅率ノ問題デアリマス、私ハ今日ノ物價指數ト事變前ノ物價指數トヲ比較シテ考ヘテ見マシテ、是ハ總テノ免稅點ニ或ハ控除額ニ關聯ノアル問題デアリマスガ、モウ少シ免稅點ヲ引上ゲテ、其ノ代リ累進賦課ノ強化ヲ圖ル、斯ウ云フヤウナ考ヘテ相續稅ニ付テモ持ツ者デアリマスガ、之ニ對スル所ノ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

テ一部惡德商人ノ懷ロヲ肥ヤスト云フヤウナ性質ノ税金デアルト考ヘマスノデ、我々ハ同志議員ト相諮リマシテ、別途ニ建議案ヲ出シテ居ル譯デアリマスガ、之ニ對シテ政府當局ハ如何ナル考ヘテ持ツテ居ルカ、我々ノ考ヘトシテハ、ドウシテモ此ノ税金ハ廢止ヲシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シテ御尋ネ致シタイノハ、現在第三國人ニ對シテハ此ノ種ノ税金ヲ取ツテ居ナイ、サウ云フヤウナ關係カラ日本商人ハ非常ナル苦境ニ立ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ今後購和條約ガ出來ナケレバ稅務當局トシテハ何等ノ臨時的ナ措置モ出來ナイモノデアルカドウカ、此ノ點ハ極メテ「デリケート」ナ問題デアアリマスガ、此ノ際、ツ承ツテ置キタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 相續稅ノ改正ニ付キマシテハ、財產稅徵收後ノ富ノ分布狀況ヲ考ヘマシテ、相當改正スル積リデアツタノデアリマスガ、差向キ物價事情ヲ考ヘマシテ、家督相續第一種ノ免稅點五千圓ヲ四倍ノ二萬圓ニ引上ゲ、又遺產相續ニ付キマシテモ千圓ヲ三千圓ニ引上ゲ、サウシテ少額相續財產ニ對シマシテハ、扶養家族ノ控除金額ヲ倍額ニ引上ゲマシテ、負擔ノ適正ヲ期シタノデアリマス、又百萬圓以上ノ相續財產價額ニ付キマシテハ或ル程度ノ増徴ヲ致シマシテ、例ヘバ五百萬圓超過ノ從來ノ最高稅率ハ千分ノ四百四十デアリマシタノヲ、千分ノ五百五十二ニ引上ゲル等、大體御意見ニ副ヒマスヤウニ改正致シテ居ルノデゴザイマス、唯今家督相續ノ免稅點二萬圓デハ如何ニモ少イデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、併シ此ノ家督相續ノ狀況ヲ見マスルト、大體不動産ガ相當ノ部分ヲ占メテ居リマス、勿論百萬圓以上ノ財產家ニ付キマシテハ株券等ノ有價證券ガ相當ノ部分ヲ占メマスガ、小資產家ニ於キマシテハ、我が國ノ實情ハ相當ノ不動産ノ部分ガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ不動産ノ評價ハ御承知ノ通り農地調整法等カラ考ヘマス

更ニ飲食稅ニ付テ申上ゲタイノデアリマスガ、今日遊興飲食稅ノ中デ、遊興稅ハ社會的感情カラ致シマシテ議論ノアルコトデアリマスガ、飲食稅ハ大衆課稅的性質ヲ持ツテ居ル、而モ課稅ノ技術カラ言ヒマシテモ是ハ惡稅デアツテ、政府ノ懷ロニハ入ラズシテ、惡德商人ノ懷ロニ是ガ入ツテ行クノデアアル、言換ヘレバ大衆ノ犧牲ニ於

ヲ致シマシテ、例ヘバ五百萬圓超過ノ從來ノ最高稅率ハ千分ノ四百四十デアリマシタノヲ、千分ノ五百五十二ニ引上ゲル等、大體御意見ニ副ヒマスヤウニ改正致シテ居ルノデゴザイマス、唯今家督相續ノ免稅點二萬圓デハ如何ニモ少イデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、併シ此ノ家督相續ノ狀況ヲ見マスルト、大體不動産ガ相當ノ部分ヲ占メテ居リマス、勿論百萬圓以上ノ財產家ニ付キマシテハ株券等ノ有價證券ガ相當ノ部分ヲ占メマスガ、小資產家ニ於キマシテハ、我が國ノ實情ハ相當ノ不動産ノ部分ガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ不動産ノ評價ハ御承知ノ通り農地調整法等カラ考ヘマス

ト、サウ評價ヲ引上ゲル譯ニハ行カナイ、隨テ今二萬圓位ニ致シマスト、大體田畑一町步程度御持チノ方デ、此ノ程度デ已ムヲ得ナイノデハナイカト思ヒマス、又我々ノ調査致シマシタ所ニ依リマス

ト、大體全國ノ一戸當リノ財產額ト云フモノハ、二萬圓ヲビドク超過シタモノトモ考ヘラレナイ狀況デアリマスノデ、只今ノ所此ノ程度ノ免稅點ガ適當デナイカト考ヘテ居リマス

スベキ筈合ノモノデゴザイマス、隨ヒマシテ我々ト致シマシテハ極力第三國人ノ課稅ニ付キマシテハ努力ハ致シテ居リマス、併シ如何セン實力ノ問題ニ相成ツテ居リマスノデ、是ガ對策ニ付キマシテハ警察當局等ト緊密ナ聯絡ヲ圖リ、今後脫稅防止ニ邁進致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○上林山委員 此ノ際御尋ネシタイノデスガ、現在大藏當局ノ御說明ノヤウニ、都下ノ飲食業者ガ一齊ニ休業ヲシテ居ル、是ハ勿論一面此ノ税金ノ撤廢ノ意思モ含シテ居ルノデアリマスガ、ソレト同時ニ茲ニハ第三國人ト商業上ノ正常ナル競争ガ出來ナイト云フヤウナ意思ヲ含シテ居ルモノト私共ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、今大藏當局ハ脫稅或ハ其ノ他ノ所謂不法行為ニ對シテハ、相當警察ト協力シテ嚴重ナル監督ヲ行フ、是ハ又聯合國ニ支持スル所デアルト斯ウ云フヤウナ意見ヲ承ルノデアリマスガ、内務大臣トシテハ之ニ對シテ十分ナ實際上ノ取締ヲヤツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ關聯シテ御尋ネ致シタイノデアリマス、

次ニ遊興飲食稅デゴザイマス、此ノ遊興飲食稅ハ脫稅ガ多イ、又其ノ摘發ガ困難ダト云フコトト、又一面是ハ戰爭中ノ課稅デアアル、戰後ニ於テ斯カル無謀ナ稅ハ廢止

○大村國務大臣 御尋ネノ點ニ付キマシテハ原則論トシテハ今大藏當局カラ御答ヘニナツタ通りデアリマシテ、是ガ實際ノ取扱ヒニ付キマシテハ尙ホ宜ク打合ハサナケレバナラヌ點ガアリマシテ、マダ具體的ニ如何ニスルカト云フ問題

具體的ニ如何ニスルカト云フ問題

具體的ニ如何ニスルカト云フ問題

ニ付キマシテハ一寸此處で御答へ申上グル所マデ行ツテ居リマセヌ、左様御諒承願ヒマス

○上林山委員 其ノ問題ハ是レ以上突ツ込ンデ御尋ネ致シマセヌガ、適當ニ御善處ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ遊興稅ノ方ハ已ムヲ得ナイガ飲食稅ノ問題ニ付テハ大藏當局モ更ニ積極的ナ御研究ヲ願ツデ、我々ノ意見ヲ一ツ尊重シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルモノデアリマス

次ニ大藏大臣ニモ御伺ヒ致シマスガ、前内閣デハ財産稅ノ免稅點ヲ二萬圓、其ノ後米國ノ顧問ガコテラニ來テカラハ日本ノ實情ヲ斟酌シテ是方三萬圓トナツタ、所ガ最近傳フル所ニ依リマスト是方五萬圓ニナルト云フ、私ハ此ノ點ハ政府ノ努力ト相俟ツテ日本ノ實情ヲ關係方面ガ非常ニ理解サレツ、アル點デアリマシテ、國民トシテ洵ニ諒トスルモノデアリマスガ、併シ戰爭前ノ物價指數ト現在ノ物價指數ヲ比較シマスと餘リニモ其ノ開キガ大キイノデアリマス、是ハ元來自由黨ノ主張デモゴザイマスガ、今日ノ事情カラ致シマシテ

十萬圓程度ニ免稅點ヲ引上グルト云フヤウナ積極的ナ交渉ヲシテ居ラレルカドウカ、或ハシテ居ナイトスルナラバ、少クトモ私ハサウ云フ風ニ善處ヲ願ヒタイ、其ノ代リ私ハ百萬圓以上或ハ五百萬圓以上ノ超過額ニ對シマシテハ少クト

モ九割五分位ノ思ヒ切ツタ税金ヲ取ツテモ宜シイト云フヤウナ考ヘヲ持ツモノデアリマスガ、重ネテ此ノ點ヲ斟酌サレマシテ一ツ御答ヘ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ又何時頃此ノ財産稅ハ徵收スルノカ、餘リニ愚圖々々シテ居ルヤウデアアルガ、何時之ヲ御取リニナルノデアアルカ、其ノ期日ヲ御示シ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルモノデアリマス

○石橋國務大臣 只今財産稅ハ外ノ問題トモ關聯シテ居リマシテ、必ズシモ向フガ斯ウ言ウタカラ三萬圓ニ引上ゲタト云フヤウナコトハ政府トシテハナイ譯デアリマス、現在ニ於テ幾ラ以上カラドウ云フ風ニ財産稅ヲ取ルカト云フ數字ハマダ實ハ申上グル時期ニナツテ居リマセヌ、極メテ近イ中ニ決メナケレバナラナイノデアリマスガ、マダ中々細カイ點デ問題ガ相當殘ツテ居リマスノデ、申上ゲナイ方ガ適當ト思ヒマス、成ベク御趣旨ニ添フヤウナ方向ニ向ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、稅率ニ付テモ同様デアリマス

○上林山委員 財産稅ノ免稅點ニ

付テ政府ガ努力セラレテ居ルコトヲ私共諒トスルノデアリマスガ、先程申上ゲマス通りニ、日本ノ實情ヲ能ク關係方面ニ認識サシテ戴キマシテ、今日ノ物價指數ハ勿論ノコト、地方ノ農家、或ハ町ノ小市民、斯ウ云フヤウナ人々ハ此ノ五萬圓、或ハ三萬圓デハ引掛カルノデアリマシテ、少クトモ日本ノ中産階級或ハソレ以下ノ人々ノ實相ガ能ク分ツテ居ラレルトスルナラバ、私ハ十萬圓ガ少クトモ必要デアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘマスノデ、更ニ努力ヲ御願ヒ致シマシテ次ノ問題ヲ質問致シタイト考ヘスルノデアリマス

次ノ問題ハ、現在外地カラ引揚ゲテ來タ人々ガ非常ニ困ツテ居ル、僅カニ一十圓ノ小金ヲ持ツテ内地ニ歸ツテ來タノデアリマスルガ、其ノ後非常ニ困ツテ生活ニ窮シテ居ルノデアリマス、國家トシテハ色々意味ニ於テ是等ノ救済ノ方法ヲ講ジツ、アリマスルガ、中デモ是等ノ人々ガ強ク要望シテ居リマスルノハ、預金、貯金ニ對スル所ノ拂出ヲ政府ガヤツテ貰ヒタイ、外地ニ或ハ臺灣ニ朝鮮ニ相當ノ預金ヲ持ツテ居ツタガ内地ニ歸ツテモ何等之ニ對シテ政府ガ具體的ナ援助ヲ與ヘテ居ナイ、是ハモウ引揚人ノ總意デアリマス、是等ヲ全面的ニ政府ガ補償シテ拂出スト云フコトハ、今日ノ財政ノ窮乏ナ折ニ連モ出來ナイコトデアアル

ト私共モ了解スルノデアリマスガ、茲ニ最低限度ノ基準ヲ示シテ、何等カノ具體的ノ方法ヲ急速ニ御立テニナル必要ガアルト思フノデアリマスガ、何等カ之ニ對シテ對策ガオアリニナルカドウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○石橋國務大臣 引揚者ノ問題ニ付キマシテハ屢々御尋ネガアル譯デアリマス、日本政府トシテハ此ノ問題ヲ重大視シテ、何トカ引揚者諸君ノ生活乃至仕事ガ成立ツヤウニ、安定スルヤウニ致シタイト苦心ヲシテ居ル譯ナノデアリマス、併シ是等ノ諸君ノ預貯金デ、現在マダ外地ニアリマシテ、内地ニ送金サレテ居ラナイモノハ、是ハドウシテモ救済ノ途ガアリマセヌ、ソレカラ既ニ内地ニ送金サレテ居ルモノモ、御承知ノ通り封鎖サレテ殆ド引出ガ不可能ナ狀況ニナツテ居リマスルガ、私トシテハセメテ之ヲ今回ノ補償等ノ整理ノ問題ノ中ヘ一絡ニ入レマシテ、内地ニ於ケル預金ト同ジニ取扱ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ努力シテ居ル譯デアリマスガ、是ハマダドウナリマスカ決定ヲ致シマセヌ、目下其ノ方針デ計畫シテ居ルト云フ譯デアリマス、隨テマア内地ニ送金サレタ預金モ之ヲ大イニ當ニスル譯ニハ行カナクナル譯デアリマセウ、ト云ツテ又政府ノ豫算デアリテ、引揚者諸君ニ對シテダケ何

等カノ手ヲ打ツト云フコトモ亦出來ナイコトデアリマス、デ已ムヲ得マセヌカラ、ソレ等ノ方ガ仕事ニ就ク、其ノ生業資金ト云フモノハ、是モ特ニ引揚者ダケト云フ譯デハナイ、一般的ナ金融ノ中ニ入ル譯デアリマスガ、其ノ金融ヲ出來ルダケ行ツテ、内地デ仕事ニ一刻モ早ク就ク、庶民金庫ノ貸出ト云フヤウナモノモ中々難カシイノデアリマスガ、色々工夫ヲ致シマシテ、出來ルダケ庶民金庫カラ貸出ヲサセルヤウナ方法ニ致シタ譯デアリマス、甚ダ微力デアリマシテ、外地ニ於テ多年活動シタ諸君、ソシテ相當ナ資産ヲ持タレタ諸君ガ眞裸ニナツテ歸ツテ來ラレル、是ガドウニモナラナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアアルシ、又國ノ爲ニ決シテ良イ結果バカリ生ムモノトハ思ヒマセヌガ、實情ハ今申上グルヤウナ譯デアリマス、政府ハ出來ルダケノコトヲ致シ、又將來ニ於テ其ノ結果ガ惡影響ヲ生マナイヤウニ工夫シ、段々ニ良イ狀況ノ方ニ持ツテ行クヤウニ關係方面トモ諒解ヲ付ケタイ、斯ウムフヤウニ考ヘテ居リマス

○上林山委員 今ノ引揚人ニ對スル預貯金ノ問題ニ對シテ、政府ガ具體的ニ研究ヲ進メラレテ居ル點ニ對シテ私ハ了解スルノデアリマスガ、恩惠的ニ國家ガ生業資金ヲ貸出シ、或ハ其ノ他ノ給與ノ方法ヲ講ズルト云フコトモ、今日ノ事

態ニ於テハ勿論必要ナコトデアリ
マスガ、引揚民ノ心境ニナツテ考
ヘテ見マス、自分ガ汗水垂ラシ
テ働イタ金ガ、敗戦ノ結果トハ言
ヘ内地ノ人ニ比較シテ何等ガ貴
ヘナイト云フコトハ、是ハ私ハ同
情トカ理解トカ云フ言葉デハ盡シ
得ナイ心境デアルト考ヘルノデア
リマス、デアリマスカラ或ル程度
ノモノハ證明書ヲ持ツテ居ツタナ
ラバ茲ニ應急ノ措置ヲ政府ガ講
ゼラレルヤウ、少クトモ恩惠のニ
出シテヤル金ガアルナラバ、其ノ
犠牲ニ於テ是等ノ方ニ之ヲ轉換シ
テ、證明ガ付クモノニ付テハ、或
ル一定ノ標準額ハ之ヲ拂出しテヤ
ルコトガ、最モ全體のナ調和ヲ得
タ考ヘ方デアルト私ハ思フノデア
リマスガ、此ノ點ニ對シテハ答辯
ハ要リマセヌガ、極力善處ヲ要
望シテ已マナイノデアリマス

最後ニ御尋ネ致シタイノハ、特
別課稅案ガ近ク提出サレマスノ
デ、其ノ際具體的ナコトハ十分分
ルト思フノデアリマスガ、關聯シ
テ重大ナ問題デアルト考ヘマスノ
デ御伺ヒ致シタイノハ、戰爭保險
ニ關スル問題デアリマス、戰爭保
險ハ政府ハ之ヲ名目的ニ支拂ヒマ
シテ、之ニ一〇〇%ノ課稅ヲ行ツ
テ、結局實際的ニハ打切ルト云フ
コトニナルノデアリマスガ、此ノ
際個人ニ對シテハ例外ヲ設ケテ、
五萬圓マデハ政府ノ補償ニ依ツテ
之ヲ支拂ワスル、或ハ言ヒ換ヘマ

スト免除スル、斯ウ云フ風ニナツ
テ居ルト聞イテ居ルノデアリマス
ガ、正ニ其ノ通りデアルカドウ
カ、是ハ併シナガラ個人ノコトデ
アルガ、小サナ法人ニ對シテハ何
等是等ノ免除ノ方法ヲ講ジテ居ナ
イノデアルカ、講ジナカウタス
ルナラバ、ドウ云フ理由ニ依ツテ
之ヲ講ジナイノデアルカ、此ノ點
ヲ承ルト同時ニ、特ニ國民ガ要望
シテ居リマス所ノ建物疎開ニ對ス
ル補償ノ程度或ハ學校、病院、市
町村役場サウ云フヤウナ所謂公共
團體ニ對スル免除ノ程度ハドウ云
フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、私ハ少
クトモ是等ノモノハ政府ガ構想シ
テ居ラレル以上ニ考ヘテヤルベキ
性質ノモノデアアル、斯ウ云フヤウ
ニ考ヘルノデアリマス、幾ラカハ
之ニ手心ヲ加ヘルト云フ程度ナラ
バ、私ハモウ一步進ンデ免稅ヲシ
テ貰ヒタイ、サウ云フ風ニ考ヘル
ノデアリマスガ、是等ノ公共的ノ
モノニ對シテ全面的ニ免除ガ出來
ヌカドウカ、此ノ點ヲ伺ツテ見タ
イノデアリマス

更ニ附加ヘテ伺ヒタイノハ、結
局實質的ナ打切ニ依ツテ從來ノ特
殊預金ハドウナルカト云フコトデ
アリマス、五萬圓以下ノ特殊預金
ハ、結局傳ヘテレル所ニ依レバ一
般ノ封鎖ニナルノダ、サウシテ特
殊預金ハ全然ナクナルト云フ風ニ
聞イテ居リマスガ、正ニサウ云フ
ヤウナ方向ニ向ツテ居ルカドウカ

此ノ點ヲ最後ニ伺ツテ私ノ質問ヲ
打切りタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 御尋ネノ色々ノ
點ハ既ニ數字ノ決定ヲシテ居ル部
分モアリマスガ、決定シテ居ナイ
部分ガアリマス、新聞ナドデ色々
ノコトヲ何處カラドウヤツテ書カ
レルノカ知レマセヌガ、私共トシ
テハ實ハ書カレテ甚ダ困ツテ居ル
ノデアリマス、此ノ際私ノ口カラ
マデ決定シテ居ラナイ、法案トシ
テ出シテ通ラナイモノノ數字ヲ此
處デ申上ゲルコトハ避ケサセテ載
キマス、色々ノ關係カラ暫ク私ノ
口カラ申上ゲ兼ネル譯デアリマ
ス、併シ御質問ノ御趣意ノ方向ニ
向ツテ極力努力致シテ居ル、殊ニ
其ノ中ニアリマシタ地方公共團
體、學校、病院ト云フヤウナモノ
ニ付テハ極力御趣意ニ副フヤウナ
方向ニ向ツテ居リマス云フコト
ダケヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス
○上林山委員 非常ニ理解アル、
ト言ヒナガラ憚ツタ御答辯ヲ更ニ
追求スルト云フノハ心苦シイノデ
アリマスガ、一日希望ダケヲ申上
ゲテ置キタイノハ、私ノ希望ノ線
ニ沿ツテ居ラレルトハ言ハレマス
ガ、唯手心ヲ加ヘルト云フ程度デ
ハナシニ、市町村役場或ハ學校或
ハ其ノ他ノ公共團體ハ、特ニ學校
等ニ付テハ公私立ヲ問ハズ少クト
モ全免シテ戴キタイト云フ要望ヲ
申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リタ
イト思ヒマス

○苦米地委員長 ソレデハ本日ハ
是デ散會致シマス
午後零時十二分散會

昭和二十一年十月十九日印刷

昭和二十一年十月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局